



PART 1 歯内療法の成功率と長期予後

Chapter1 歯内療法とはどんな治療法か?

■歯内療法の3つの目的 ■歯内療法の3つのステージ

Chapter2

歯内療法の成功率と機器・材料の進化

■生活歯髄療法・初回治療・再根管治療の成功率
■各治療ステージにおける成功率の差をどう考えるか
■外科的歯内療法の成功率

Chapter3

既根管治療歯の予後と機器・材料の進化

■既根管治療歯の長期保存のポイントは残存歯質量にあり ■機器や器具、材料の発展・進化したらした既根管治療歯の長期予後

PART 2 診査診断

Chapter1 歯内療法における診査

■診査の位置づけと心構え ■問診 ■口腔外診査
■口腔内診査 ■エックス線診査

Chapter2 歯内療法における診断

■歯髄の診断 ■根尖周囲組織の診断 ■待機的診断のすゝめ

PART 3 治療開始に至るまでのプロセス —意思決定と治療計画立案・ インフォームドコンセント—

Chapter1 歯内療法における意思決定

■歯自体の保存の意思決定 ■治療介入の意思決定

Chapter2 治療計画立案

Chapter3 インフォームドコンセント

PART 4 無菌的処置

Chapter1 治療対象歯に対する無菌的処置

■徹底したう蝕除去 ■隔壁の設置 ■ラバーダム防湿 ■仮封による封鎖

Chapter2 器具・材料に対する無菌的処置

PART 5 生活歯髄療法

Chapter1

生活歯髄療法を成功に導く4つの山場

■術前診断 ■う蝕の除去 ■(露髄した場合)歯髄の

視診&止血の可否の確認 ■封鎖による細菌侵入防止

Chapter2 生活歯髄療法の種類と術式

■露髄しない(させない)場合に採用する術式 ■露髄する場合に採用する術式

PART 6 根管内細菌の除去・減少

Chapter1 根管拡大形成

■アウトライン・アクセス(概形成・髓腔開拓) ■ストレートラインアクセス(根管口明示) ■ネゴシエーション(穿通確認) ■作業長と作業幅径(最終拡大号数)の決定 ■Ni-Ti ロータリーファイルによる拡大形成 ■超音波チップなどによる仕上げ形成

Chapter2 根管洗浄

■NaOCl+EDTAによる根管洗浄のすゝめ ■すみずみまで行き渡らせる洗浄方法

Chapter3 根管内貼薬

■根管内貼薬を「する・しない」の判断基準 ■根管内貼薬剤として酸化カルシウムが選択される理由 ■根管内貼薬のしかた ■根管内貼薬期間の設定

PART 7 根管充填

Chapter1

根管充填における終末位置の考えかた

Chapter2 根管充填法

■シーラーとコアマテリアルを用いる充填法 ■MTAやバイオセラミックパテのみを単独で充填する方法

PART 8 支台築造・歯冠修復

Chapter1 支台築造

■「歯冠側の封鎖」の観点から考える支台築造のポイント ■「破折抵抗」の観点から考える支台築造のポイント ■築造体の強度を左右するファイバーポストの配置 ■直接法による支台築造ステップ

Chapter2 歯冠修復

■「歯冠側の封鎖」の観点から考える歯冠修復のポイント ■「破折抵抗」の観点から考える歯冠修復のポイント

PART 9 再根管治療

Chapter1 修復物・築造体の除去

■クラウンの除去方法 ■築造体(コア&ポスト)の除去 ■レジンコア・ファイバーポストの除去

Chapter2 根管充填材の除去

■ガッタパーチャポイントの除去 ■その他の充填材の除去方法

Chapter3 レッジへの対応

■レッジへの対処法 ■本来の根管探索時における注意点

Chapter4 破折ファイルへの対応

■破折ファイル除去に踏み込む2つの意思決定 ■破折ファイル片の除去方法

Chapter5 穿孔封鎖

■穿孔封鎖の予後 ■穿孔封鎖の意思決定と対処法

PART 10 予後の評価方法と経過観察

Chapter1 予後の評価方法

■2つの臨床的評価方法 ■生活歯髄療法における予後の評価方法 ■根管治療における予後の評価方法

Chapter2 経過観察の時期と期間

PART 11 外科的歯内療法

Chapter1 モダンテクニックと従来法の違い

Chapter2 外科的歯内療法の実践に必要な診療環境の構築

■揃えておくべき器具・材料 ■拡大装置 ■診療時間 ■人員確保

Chapter3 事前準備

■主治医への照会 ■インフォームドコンセント ■CBCT撮影

Chapter4 歯根端切除術の術式

■麻酔 ■ポジショニング ■切開・剥離 ■骨窩洞形成 ■根尖部の切除 ■搔爬 ■止血 ■切断面の観察 ■逆根管形成 ■逆根管充填 ■縫合・投薬・抜糸 ■歯根端切除術の術後経過

Chapter5 意図的再植術の位置づけと適応症

■意図的再植術とは ■意図的再植術の適応症 ■意図的再植術の非適応症

Chapter6 意図的再植術の術式

■局所麻酔 ■抜歯 ■根尖切除&逆根管形成 ■逆根管充填 ■再植と固定、経過観察



日常臨床における歯内療法のすべてを学ぶ・習得する

ビジュアル 歯内療法学

生物学的コンセプトとテクニックのすべて

著 伊藤 創平

本書の特徴

この一冊で基本からグローバルスタンダードなテクニックまで歯内療法のすべてを学ぶことができる

歯内療法の成功率を高める生物学的コンセプトとエビデンスに裏付けされた臨床テクニックを網羅的に解説しています。

臨床応用時に押さえておくべきポイントを直感的に理解できる

先人が積み上げたコンセプトや統計データ、臨床テクニックのすべてをビジュアル化して解説しています。

バイオセラミック系材料を用いた根管充填法のポイントも詳しく解説

どこが進化したのか? 従来法との違いは? など、最新器具・材料に関する情報も収載しています。



A4判 404ページ
定価20,900円(税込)
ISBN 978-4-909066-51-0 C3047

注文票

品名	定価	冊数
ビジュアル歯内療法学 生物学コンセプトとテクニックのすべて	20,900円(税込)	



インターアクション株式会社

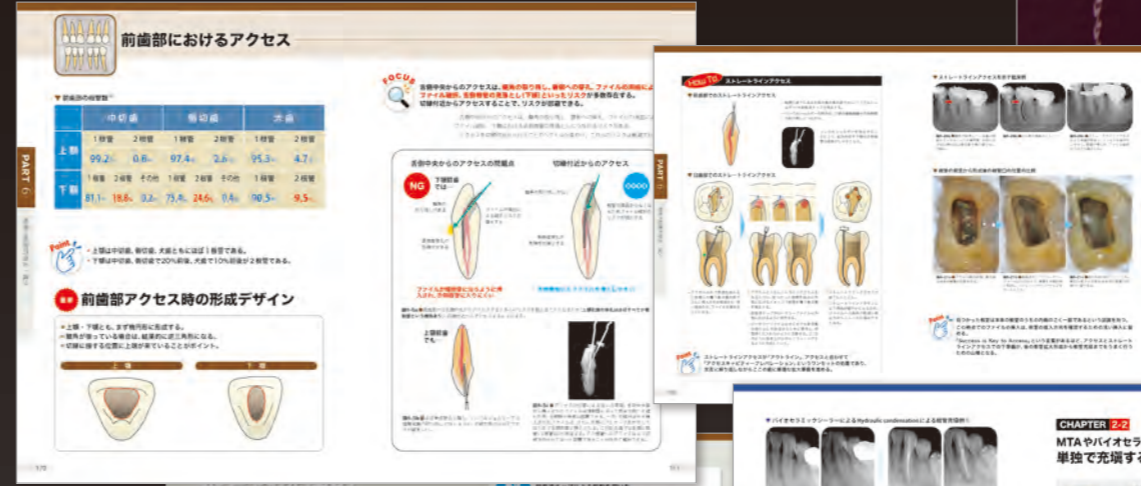
東京都武蔵野市境南町 2-13-1-202
TEL 070-6563-4151 FAX 042-290-2927
https://interaction.jp

診査診断から外科的歯内療法まで生物学的コンセプトに基づいた《歯内療法のすべて》をこの一冊から学ぶことができます

何を聞く？ どんな特性がある？
病態や症状を明確にする
問診や検査のノウハウが学べる！



感染を徹底的に除去する！ テクニカルエラーを防ぐ！
拡大形成・洗浄・充填など
一連のステップが直感的につかめる！



歯内療法は、方程式のように
ポイントを押さえれば、
よい結果を出すことができます！



本書の著者
伊藤 創平
千葉県浦安市・ITO DENTAL OFFICE 院長
米国歯内療法学会 (AAE) 会員
日本歯内療法学会会員
Penn Endo Study Club in Japan
石井歯内療法研修会インストラクター

本書を推薦します

若手臨床家の教科書に
最適な一冊です

本書は根尖性歯周炎のマネージメント法を全体的に網羅しています。
最初から最後まで一気に読むのではなく、必要な項目を必要に応じて紐解く、教科書の役割を担うことができる良書です。
若手臨床家にはぜひお手元に一冊おいておくことをお勧めいたします。



Penn Endo Study Club in Japan 主宰
石井 宏 先生
石井歯内療法研修会 主宰
米国歯内療法学会 (AAE) Specialist Member
日本歯内療法学会専門医

ポストやコア、ガッタパーチャ除去もステップを踏めば確実にできる！
問題解決と歯質保存を両立した
再根管治療のテクニックを習得する！



もっと歯の寿命の延伸に貢献したい！
生活歯髄療法・外科的歯内療法を
治療オプションに加える！

